

印西市シルバー人材センター

人生のまひき

会報

第33号

平成31年(2019年)
1月号

発行
公益社団法人・印西市
シルバー人材センター
〒270-1337
印西市草深924
TEL0476-45-0468



いんざい七福神 ほてい尊 (写真提供 山本良男 会員)

○事務局

臨時職員	職員	事務局長
佐藤 正一	小川 宜光	小澤 佑来
小澤 江津子	生澤 佑来	金口 研修
小林 研二		

監事	常务理事	副会長	会长
佐藤 良一	時田 和夫	鈴木 彰	村形 豊
田中 彰	高嶋 節成	阿立 信子	荒野 富子
小林 研二	小田 波俊	田波 英二	三浦 徹

○役員

本年もよろしく
お願い申し上げます

謹賀新年





新年の挨拶

会長 三浦 徹

謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、重ねてお慶びを申し上げます。

さて、平成三十年度は四月から十月



年頭に当たって

印西市長 板倉 正直

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。役員並びに会員の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

までに受注した仕事は全体的に伸び悩んでいる状況にあります。

従来からの請負就業について、前年比九十五・五％と民間企業の請負契約終了があり、新規就業等でカバーできていない状況にあります。

しかしながら、シルバー派遣就業については堅調に伸びており、前年比〇五・三％と今期も目標を達成する見込みであります。

これにより、四ノ十一月の全体(請負+派遣)の累計受注金額は、対前年比九十六・三％の一億五千二百六十万円とな

っております。

また会員数の方は四百五十四名

(十二月十日現在)と昨年末と比べ微増しており、これも印西市役所様、企業様、市民の皆様からの多大なるご支援、入会促進等や会員皆様方のご精励によるものと、厚く御礼申し上げます。

このような中で、印西市シルバー人材センターは引き続き会員の拡大や、シルバー派遣就業のさらなる推進、就業機会確保を図るとともに、安全就業の徹底に取り組んでまいります。本年も当センター理事、職員一丸となつ

加の促進に大きくご貢献をいただいております。

また、昨年は初めての試みとして、会員向けに交通安全講習会を開催するなど、新たな取組への積極的な姿勢に敬服するばかりでございます。

印西市でもますます高齢化が進み、多種多様なサービスの充足が必要になる中、シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の就業機会の拡大提供や生きがいづくりに加え、今後必要の高まる日常生活支援の担い手としても、大きな期待が寄せられております。

て、これらに対処して行く所存であります。

会員の皆様には日頃の健康管理と安全就業に留意され、本年も当センターへのご協力とご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



市といたしましても、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに向けて、各種事業により一層力を入れて取り組んでいく所存でございますので、シルバー人材センターの皆様にも、改めてご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

会員の投稿コーナー

理事を終えて

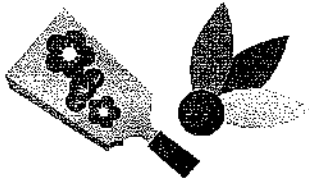
会員 竹井 精一

徒然なるままに日暮りし頃に向かいて……とは多少ニヒアンスが違いますが、しばらくの間ぼーとしていたのを記憶しています。それは十年間理事をさせて頂き常に前を向いて走っていたといううれしさ、満足感なのか、それとも緊張の糸が切れたさびしさなのかは、いまだにわかりません。

最近では趣味特にカラオケでは小林肇の会の会長として張り切っております。大きな声で歌い、ボケ防止には一番です。又、小林健康麻雀にも時々参加しております。初めの二年間の表彰式で月間最高得点取得回数一位だったをおぼえています。

最近、ほんの少しでいいから社会に貢献する事はないかなと時々考えたりしていますが、それは死が近づいたという事なのでしょうか。シルバー人材センターには心より感謝しております。

益々の御繁栄を衷心より祈念しております。



健康に感謝して

会員 清宮 正夫

私の健康法は、年中犬の散歩です。朝は三十〜四十分位、夕方は六十分〜九十分、五十五才頃から秋田犬(体重二十七kgのオスのベガ)、六十才頃から迷子のノラボウ雑種(体重十五kgのメスのチビ)の二匹を飼っていました。私も七十三才となり、秋田犬は十六年半(人間で九十才位)で亡くなり、今はメスのチビだけ、夕方の散歩はここ数年妻も一緒に歩きます。私達の散歩コースは、家から百八十度の半円、山側コース、田んぼコース、色々です。ほぼ犬が決めます。季節・天候によっても変わりますが、多くの人達には目立った存在のようです。

私は毎日晩酌(ビール三五〇缶、酒一・五〜二合)をし、肩身が狭くなったタバコ(約三十本)を吸っていますが、二日コースの人間ドックは毎年必ず受けます。十二年間、妻と二人で健康状態を確認しています。MRI・肺のCTも受けます。二病は気から「古い言葉ですが、検査結果に大きな異状が無いと知らされる事で、まだ頑張つて働けると勇気をもらえます。

シルバー人材センターに入つて庭木の手入れひとすじ十二年間、両親からもらつた健康に感謝して頑張つて来ました。大正末期から昭和十五年位迄に生まれ、早く御主人を亡くされた夫人達がなんとか庭木を美しく守りたいとの願いに對し、応えてやれる事が私の一番の喜びです。お茶の休憩時のコミュニケーションも有意義です。

今、自然の山林、休耕地が益々荒れて来ています。せめて人の住む庭ぐらゐきれいに保ちたいものです。しかしながら、庭木の手入れを志す人がいなくなつた事が残念です。「好きこそ物の上手なれ」シルバー人材センターの仲間にも自分もやってみたいと思う人が増えてほしい、指導しますよ。これから先の私の夢は、お客さんが庭木の手入れが自分で出来るような美技を指導する、そんなシルバー人材センターの仕事もあつて良いと思います。

「青春の譜」

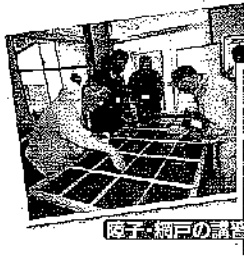
会員 松澤 健治

高校生になり行動範囲が拡がり、美術館や古書店の展覧会、寺社、城等へ友人と出かけることが多くなりました。兄が購読していた美術雑誌「芸術新潮」を書棚から取り出し読むようになっていました。その中に随筆家、岡部伊都子の連載「観光バスの行かない寺」を読み、そこへ行くのが楽しみにしていました。

京都へ一人で行き、疲れたので平安神宮の庭園で二服しようと思つたら歩いてみると、京都美術館の前のポスターが目に入りました。ヴェルナルド・ビュフェ展、鋭利な輪郭で戦後の荒廃を表現していると言われていましたが、あまりにも零々としていたので、美術界ではまだ多くを受け入れられていないと側聞していました。油絵を見るのもいいだろうと思ひ入場しました。步入つてその迫力に圧倒されました。縦三メートル程横八メートル程のキャンパスに闘牛士と牛が画面から飛び出してくるような構図でそのタッチは荒々しく、輪郭は鋭利でありました。しかし、雑誌で見ていたのと印象は異なり、時代を切り開く力強さを感じました。これをきつかけに、公募展等へも頻りに行くようになりました。勤めてからは時期、土曜の半休でも画廊巡りをするようになりました。東京出張がある企業的美術館や画廊へ行くのが楽しみでした。時を経て、駿河銀行の頭取がビュフェのコレクターで収集した作品を展示する美術館を富士の裾野に建てたことを知りました。不便なところだったのでいつか行ければと思つていました。アマチユア画家である家内をせり連れて行つてあげたかったのです。昭和五十三年東京へ転勤となりました。新幹線で三島、そこからバスで念願のビュフェ美術館へ家内と行ききました。学生時代の感動が蘇りました。新たに画廊で見た「アナベル像」(ビュフェのモデルで妻にも見入りました。映画俳優のオードリー・ヘップバーンに似たラローションは印象的でした。

月日がたち、シヨイフルで紙出しの仕事をしていて、ふと切花売場を振り向くと、やけにスラッとした清楚な花が顔をこちらに向けて微笑んでいるようでした。花は紫陽花のようだが小さいので大手穂かな。しかし葉が真直ぐなものでちがうようでした。近づいて花の札を見にいくと「アナベル」と記されていました。一気にフラッシュバックし、ビュフェの「アナベル像」が蘇りました。青春の感動がシヨイフルの花売場にあるとは思わなかつたので大変嬉しかったです。大手穂は毎年、本塾の南陽院へ見に行きます。五月の初旬に紫陽花を小ぶりにした花です。この時期、ボタンや藤、シヤガの花が時期をすらすらと咲いていて何度か見に行きます。これからは「アナベル像」を思い出すようになっていこう。私の青春は今も続いています。

講習会の開催について



西条支部の講習



松山支部の講習



宇都宮支部の講習

昨年三月に植木剪定講習会が行われました。今回も、高野先生が講師となり、講義と実習指導が行われました。

さらに三月は刈払機講習会、五月の障子と網戸の張替講習会、七月には日本赤十字社の講師を招き救急救命講習会を実施しました。

また、九月の交通安全講習会では、北総自動車学校と印西警察署のご協力をいただき、運転適性、実技の講習を行いました。

いずれの講習会も参加された方々から一様に大変有意義であったとの感想をいただきました。

今年も一月に接遇講習会、二月にパソコン講習会と刈払機講習会、三月には植木剪定講習会を予定しております。

なお、四月以降につきましては、決定次第お知らせいたします。



●事故にあったら

・就業中ケガをした場合、各会員の健康保険証を使って医師の治療を受けて下さい。その後センターにケガの状態、様子などを報告して下さい。センターの方で保険会社と傷害保険の手続きを行います。

・就業中、物損事故を起こしてしまつた場合、まず現場の会社の方に、その後人材センター事務局に連絡してください。センターと保険会社の方で状況を確認し、手続きに入ります。

事務局より

「シムバハラ」のセンター
「同人社団」のセンター

平成三十年度は十二月末時点で、保険適用の傷害事故が三件、物損事故が二件、派遣就業での傷害事故が一件発生しております。また保険適用にはなりませんでしたが、小さな事故はこの数倍発生しています。会員の皆様には、より一層「安全はすべてに優先する」という原点に帰って、日々就業していただくように、あらためてよろしくお願ひします。

また、万一就業中または就業途上に事故に遭つてしまつた場合派遣就業を除き労災保険の適用はありません。それに代わるものとして、シルバール人材センター団体傷害保険と賠償責任保険に加入しており、その内容は次のとおりです。

●保険金が支払われるケース

- ・センターから提供された仕事の中に被つた傷害
- ・センターから提供された仕事に行くため、就業場所と自宅との通常の経路の往復中に被つた傷害

※ただし自家用車を運転中の事故は除く

●保険金が支払われないケース

- ・故意による事故
- ・持病(既往症)がある場合
- ・腰痛・熱中症など内科的な疾病によるものが原因の場合

●当センターでは、女性会員の割合が依然として低く、女性向けに依頼のあつた仕事も断りしている状況です。

ぜひお近くの方に当センターでお仕事をしてみたいという方がいらつしやいましたら入会を勧めていただきますようお願い致します。

「シムバハラ」のセンター
「同人社団」のセンター

「シムバハラ」のセンター
「同人社団」のセンター

・清掃(事務所、スポーツクラブ等)

・洗い場、調理補助

・家事援助(洗濯、部屋の片づけ等)

※詳細は事務所・ホワイトボードに掲載しています。なおお電話でも紹介いたします。

編集後記

想定外が想定外でなくなつた喪失感の一年が終わり、平成の暦は早残り三か月余り。何より平和な一時代を享受できたのは建国以来最大の昭和時代の激動・危機を乗り越えた先人、先輩方のお陰と改めて感じ入ります。

次の元号名とともに、どのような時代を迎えるのか興味津々ですが、私たちシルバール世代にとっては、ごく単純に明るく元気に過ごせる、より良い環境であることを願うばかりです。

今年も会員の皆様ご健康で活躍できるよう努力して参ります。引き続きご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成三十一年一月

会報編集委員会

「ご自身の想い出を投稿ください。次号「人生いきいき新年号」に掲載予定です。

●配分金の支払日

- 一月二十五日(金)
- 二月二十五日(月)
- 三月二十五日(月)
- 四月二十五日(木)

●会報編集委員会

荒野 富子

高嶋 節子

時田 和夫

